桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
桜井市粟殿588－7　吉田ただお事務所
☎/FAX:0744-46-4930
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞは以下検索して下さい
日本共産党市会議員吉田忠雄

吉田ただお 9月議会報告

2020年 11月号　No, 80号

ごあいさつ

9月定例議会が9月2日から25日までの24日間の日程で開かれました。

吉田ただお議員は、今議会に提出された議案のうち令和元年度一般会計決算については、反対しました。

一般質問では、「新型コロナウイルス対策について」「桜井市立図書館の運営について」の2点について松井市長を質しました。

1つの相談窓口で、誰でも利用できるように

コロナ相談と支援に改善求める

申請方法や窓口がわからないと苦情・相談が

吉田議員

新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入の減少などで、市民の方から「持続化給付金や住居確保給付金の申請方法や受付窓口が分からない」「セーフネット貸付や緊急小口資金の貸し付けを受けたい」固定資産税の減免や納付の猶予、生活保護の申請など、多数の相談が寄せられている。

このような暮らしに役立つ制度があるにもかかわらず、申請方法や窓口が分からないという実態がある。

本庁に来庁した市民の目の付くところに、新型コロナウイルス関連の相談窓口を設置したらどうか。

現在は総合窓口案内から危機管理課へ

松井市長

相談窓口が多岐にわたって分かりづらいため、本庁の総合案内の受付で話をしていただき、そこから危機管理課につないで、担当課の窓口に紹介している。まだまだ案内が行き届いていないという指摘もあるので、さらにしっかりと周知をしていきたい。

桜井市でも感染リスクの高い施設関係者に無料でＰＣＲ検査実施を

吉田議員

この間、奈良県でも病院や診療所、介護施設などで集団感染が発生している。これらが感染急増をもたらす大きな要因になっている。

東京都世田谷区は医療機関、介護施設、保育所、幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員に、無料でＰＣＲ検査をおこなうとしているが、当市でも実施してはどうか。

松井市長

本市においては、市医師会や保健所と連携協力しながら、感染拡大のための対策をすすめていきたい。

議案審議（令和元年度決算）での吉田議員の質問概要

10万円の特別給付金の支給の対応は

吉田議員

新型コロナ対策特別給付金（一人10万円）の支給遅れの原因の一つが、オンライン申請を奨励したため混乱が生じたと聞いている。桜井市ではどのような対応をしたのか。現在、申請率はどこまですすんでいるのか。

青木総務部長

当市では市民に1日でも早く届けるために、検討をおこない、郵送とオンラインによる申請の開始を同時期に実施した。結果として、オンライン申請が非常に少なく、12市の中では一番早く給付作業をおこなうことができた。給付申請率は99・7％である。

特定検診の受診率低い原因は

吉田議員

生活習慣病の改善を図り、医療費の適正化を目指すために、特定検診を実施しているが、令和元年度の受診対象者、受診者、受診率について聞きたい。桜井市は県下12市のなかでも最下位の方と聞いているが、その原因と対策についてどう考えているか。

村嶋すこやか暮らし部長

対象者数９６７９人、受診者数２９５１人、受診率26・8％で、12市中11番目の低さとなっている。受診対象者で持病のため治療中の方、すでにかかりつけ医に見てもらっている方、仕事が忙しく受診を受ける時間がないという方に対して、受診の必要性を広報誌などで周知徹底するとともに、かかりつけ医と連携した取り組みをおこない受診を高めていきたい。